

決算補足説明資料

2025年度 通期 業績概要

注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2025年3月1日～2026年2月28日)

当決算におけるポイント（サマリー）

➤ 2025年度 通期 実績

➔ 売上収益 … 前期比+0.8%

- ・新規受注を確実に売上につなげ、受注残の正常化を進めた前期と比較し増加

➔ 営業利益 … 前期比▲5.7%

- ・売上増により付加価値が増加するも、為替影響および間接費増加をカバーできず減益

➔ 税引前利益 … 前期比▲36.8%

親会社の所有者に帰属する当期利益 … 前期比▲38.2%

- ・持分法適用会社の株式譲渡益を計上した前期に対し減益

➔ 第4四半期 受注 … 前年同期比+20%・前四半期比+10%

- ・AI・半導体関連分野向けの需要拡大を背景とした受注増や鉄鋼プラント関連の大口受注などにより前年同期比・前四半期比ともに増加

➤ 2026年度 通期 見通し

➔ 売上収益:5,800億円、営業利益:600億円

- ・AI・半導体関連分野を中心とした旺盛な需要を背景に、足元において受注が好調に推移していることなどを踏まえ、増収増益を計画
- ・想定為替レートは、1USD=145円、1EUR=170円、1CNY=20.5円、1KRW=0.105円
- ・26年度の年間配当は72円/株(中間:36円・期末:36円)、配当性向は39.7%を予想

目次

1. 2025年度 通期 連結業績

- 2025年度 通期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2025年度における取組み
- AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

2. 2026年度 通期 連結業績見通し

- 2026年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2026年度における取組み
- 株主還元（配当金推移）

3. 参考資料

- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 売上収益・営業利益 四半期推移
- 直近四半期営業利益増減要因分析
- 売上収益 四半期推移
- 四半期受注推移
- 参考定量情報

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ ACサーボドライブ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ

など



ACサーボドライブ Σ-Xシリーズ
新マシンコントローラ「MPX1310シリーズ」

YRMコントローラ「YRM1030」



安川インバータGA700シリーズ

太陽光発電用
パワーコンディショナ
Enewell-SOL P3H

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
- アーク・スポット溶接・塗装用途向け
- ハンドリング用途向け
- ・ AIロボット、人協働ロボット
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット

など



AIロボット「MOTOMAN NEXTシリーズ」



人協働ロボット
MOTOMAN-HC30PL

7軸アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1440E

システム エンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電気システム
- ・ 港湾クレーン
- ・ 上下水道用電気システム

など



鉄鋼プラント用
電気システム



港湾クレーン

その他

- ・ 物流サービス

など

1. 2025年度 通期 連結業績

2025年度 通期 実績

- ・売上収益は新規受注を確実に売上につなげ、受注残の正常化を進めた前期に比べ増加
- ・営業利益は売上増により付加価値が増加するも、為替影響および間接費増加をカバーできず減益

	2025年度	2024年度	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上収益	5,421億円	5,377億円	+44億円	+0.8%
営業利益	473億円	502億円	▲28億円	▲5.7%
税引前利益	496億円	785億円	▲289億円	▲36.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	352億円	570億円	▲217億円	▲38.2%

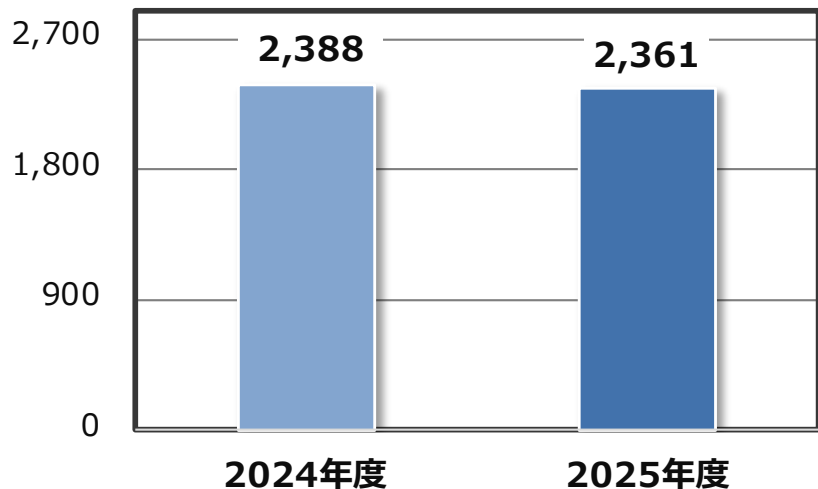
2025年度 通期 実績 (セグメント別)

- ・売上収益は、主にロボットにおける大口案件の売上などにより増加
- ・営業利益は、モーションコントロール・システムエンジニアリングの増益が寄与したものの、ロボットの影響により減少

	2025年度		2024年度		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	5,421		5,377		+44	+0.8%
モーションコントロール	2,361		2,388		▲27	▲1.1%
ロボット	2,470		2,374		+96	+4.0%
システムエンジニアリング	387		384		+4	+1.0%
その他	203		232		▲29	▲12.3%
営業利益	473	8.7%	502	9.3%	▲29	▲5.7%
モーションコントロール	244	10.3%	230	9.6%	+14	+6.0%
ロボット	204	8.3%	238	10.0%	▲33	▲14.0%
システムエンジニアリング	50	12.9%	46	12.0%	+4	+8.3%
その他	20	9.8%	16	6.9%	+4	+24.9%
消去または全社	▲45	-	▲28	-	▲17	-

主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



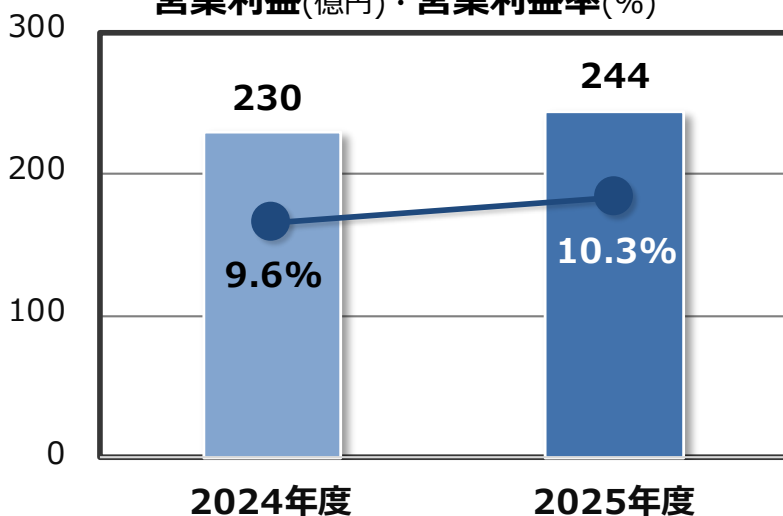
【売上収益】

- ACサーボは米国・アジアの半導体市場向けの販売が減少も電子部品・工作機械市場向けの販売が好調に推移し増収
- インバータは米国の太陽光発電用パワーコンディショナや空調用途向けの販売が堅調も、中国・アジアのインフラ関連向けの販売減少や前期に受注残の正常化を進めた影響もあり減収

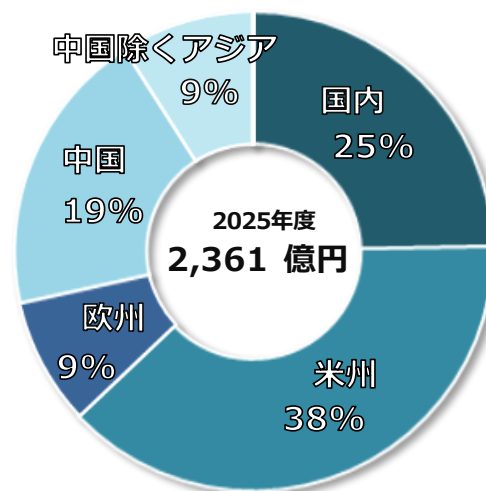
【営業利益】

- 付加価値の改善などにより増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

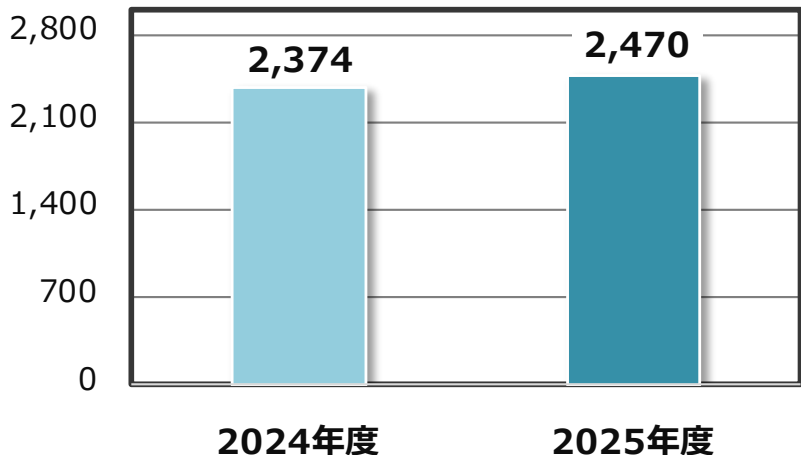


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



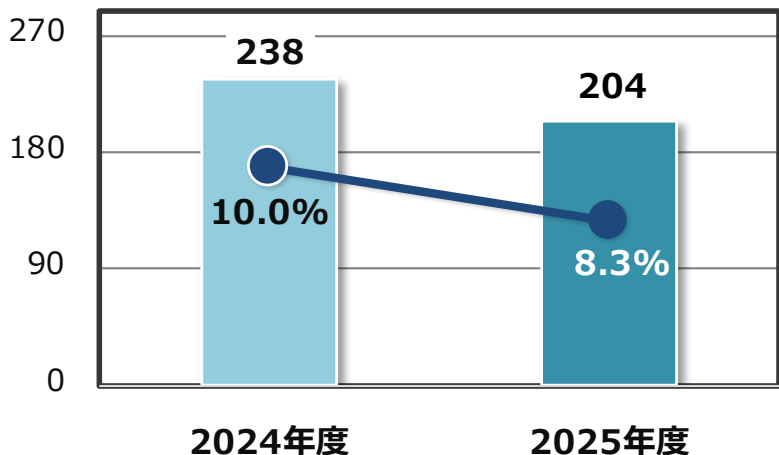
【売上収益】

- 自動車市場では、日本・米州・欧州で販売が減少した一方で、中国・アジアでは大口案件の売上により販売が増加
- 一般産業分野の設備投資需要をグローバルで捉え、セグメント全体では増収

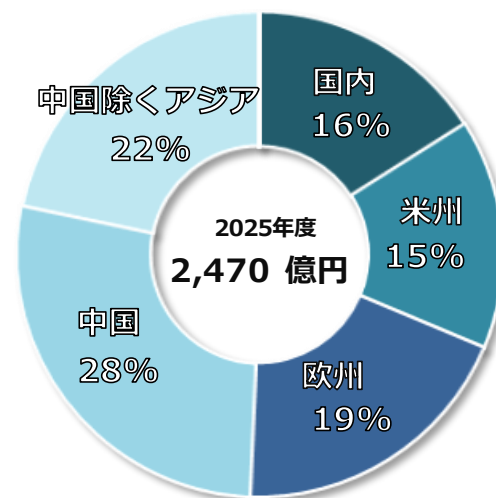
【営業利益】

- 大口案件の付加価値の影響により減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

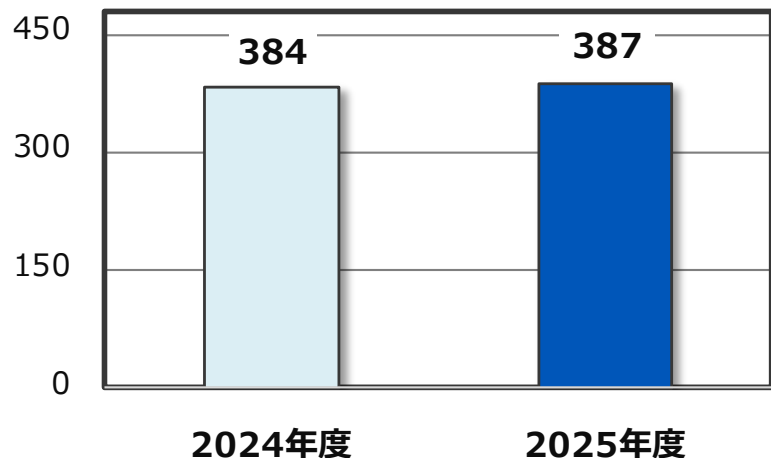


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



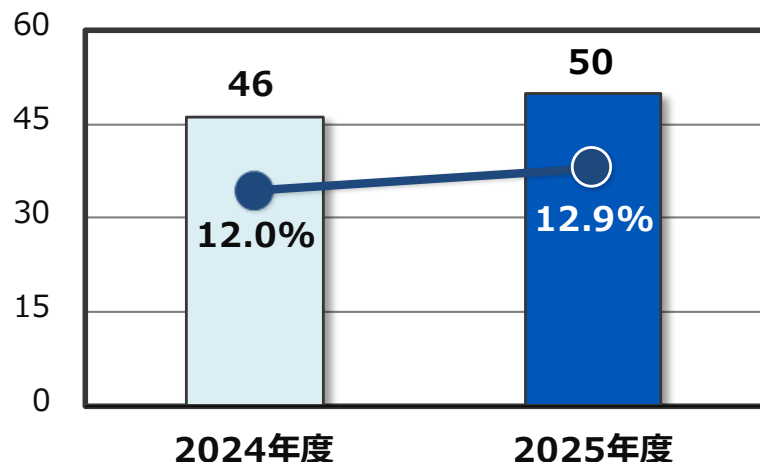
【売上収益】

- 鉄鋼プラントおよび社会システム向けの販売が底堅く推移し増収

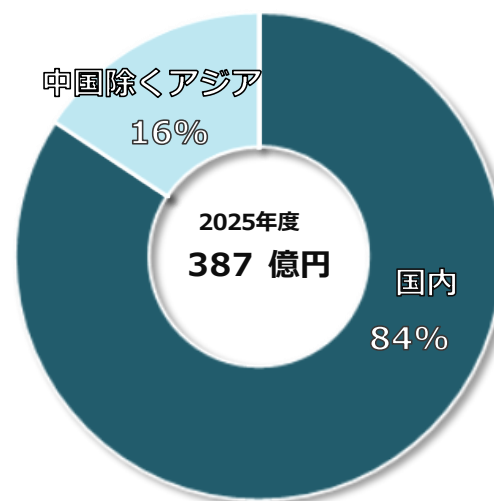
【営業利益】

- 売上増に伴う利益増や付加価値改善が寄与し増益

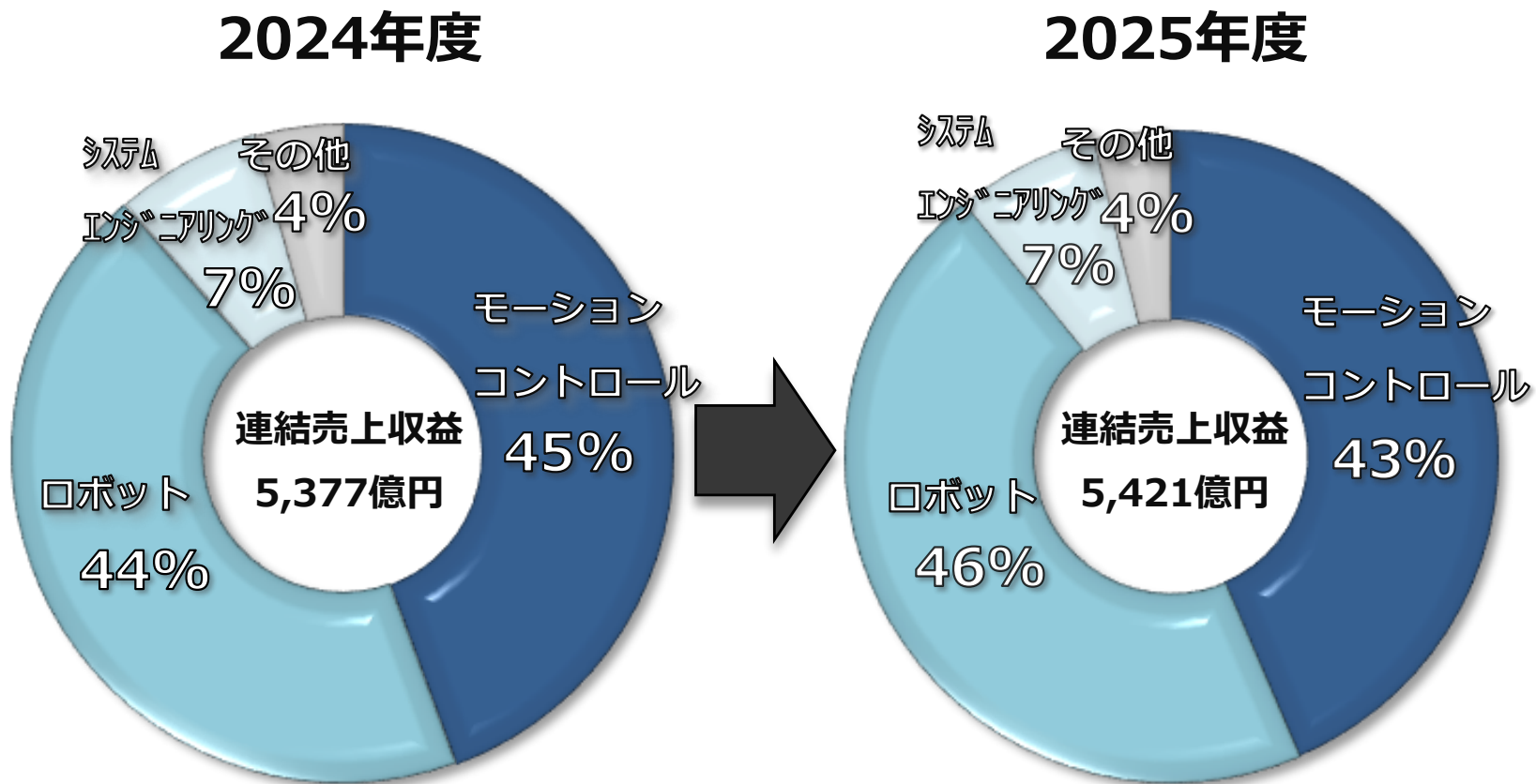
営業利益(億円)・営業利益率(%)



所在地別売上収益構成比



事業セグメント別売上収益構成比



所在地別売上収益

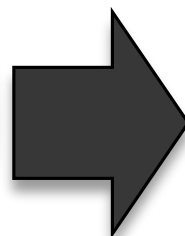
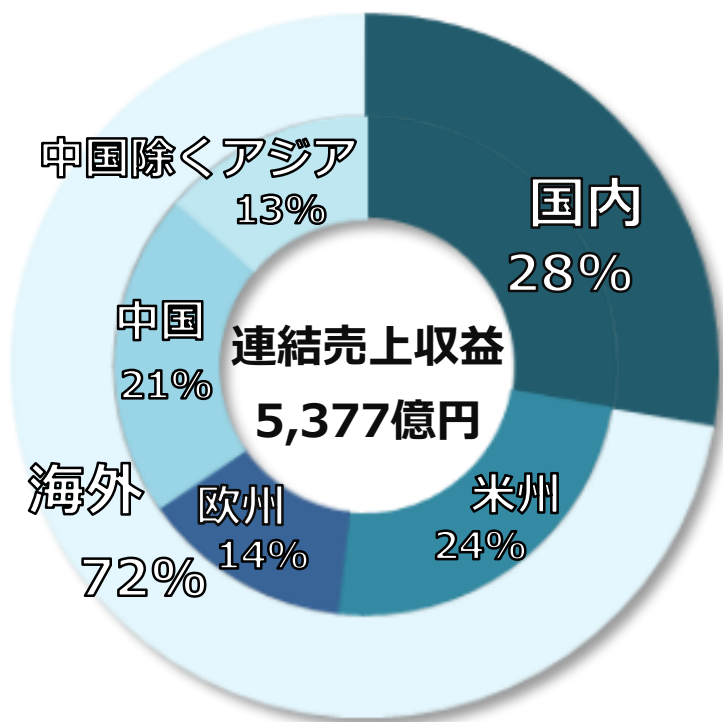
・中国・アジアが増収も、主に欧州が減収となり全体としては横ばい

(単位：億円)	2025年度	2024年度	前 期 比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上収益	5,421	5,377	+44	+0.8%
国内	1,484	1,492	▲8	▲0.6%
海外	3,937	3,885	+53	+1.4%
米州	1,285	1,295	▲10	▲0.7%
欧州	681	730	▲48	▲6.6%
中国	1,161	1,131	+30	+2.6%
中国除くアジア	810	729	+81	+11.1%

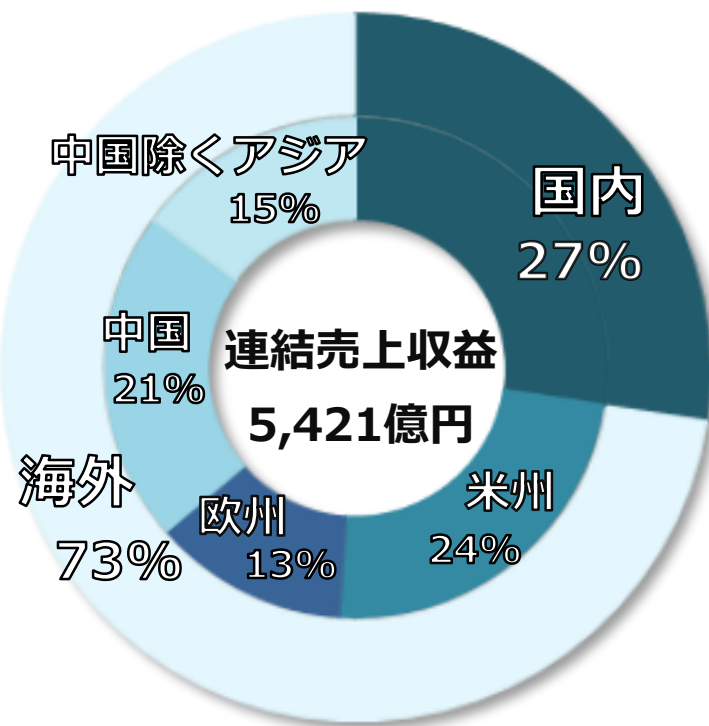
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

所在地別売上収益構成比

2024年度



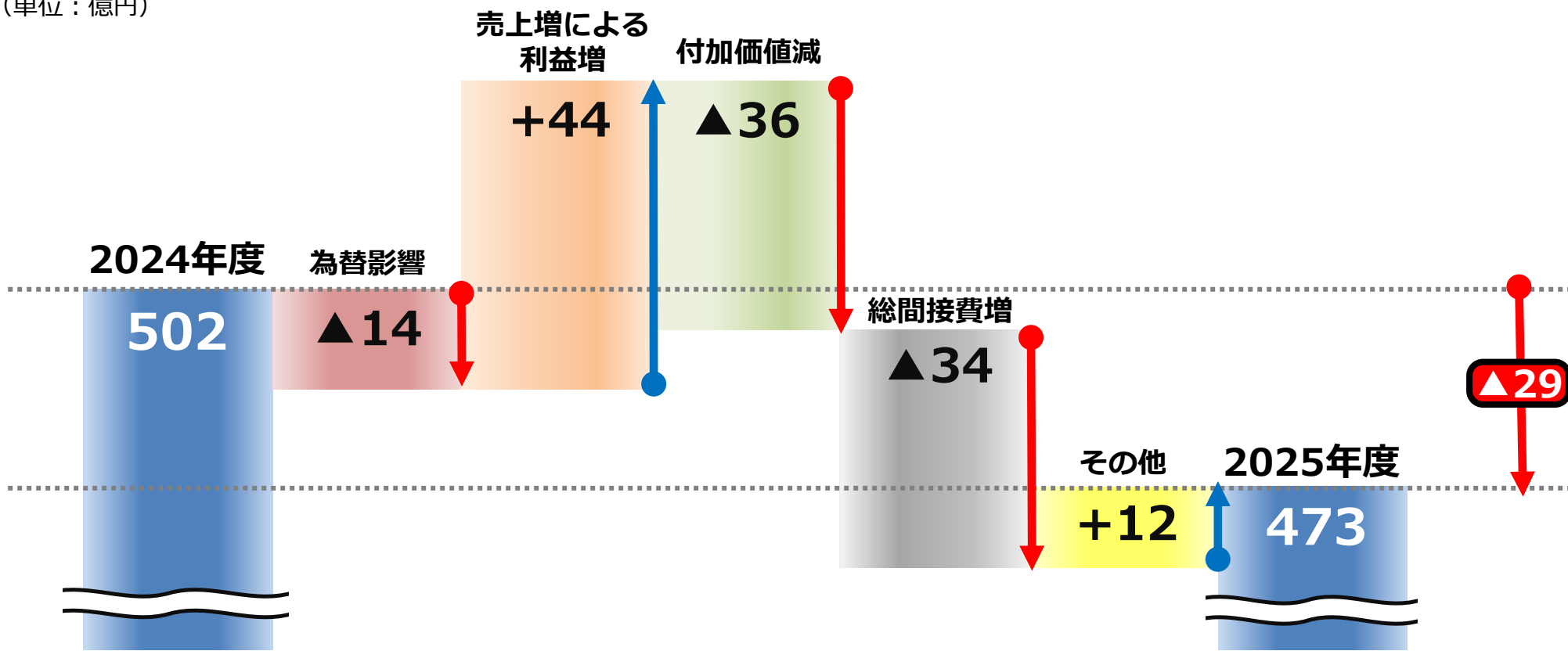
2025年度



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2024年度 → 2025年度）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	▲ 6	▲ 7	+ 25	▲ 4	+ 6
ロボット	▲ 8	+ 51	▲ 67	▲ 12	+ 2
システムエンジニアリング	+ 0	+ 2	+ 3	▲ 1	+ 0
その他	▲ 0	▲ 3	+ 3	▲ 17	+ 4

2025年度における取組み①

“i³-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

開発力の強化

- 既存の作業環境で人の代替が可能な自律性と高い作業力を備えたAIロボット(MOTOMAN NEXT)の双腕型開発
- ロボティクスをAIと通信技術で強化し、ロボットが人と柔軟に協働する未来の実現を目指してソフトバンク(株)と覚書締結
- 東京ロボティクス(株)株式の100%取得および同社の知見を活用したヒューマノイド用アクチュエータの開発着手
- 人協働AIロボット「MOTOMAN NEXT-NHC12」が日刊工業新聞社「十大新製品賞※」本賞受賞

生産力の強化

- 米国における本社・技術開発拠点・産業用ロボット生産工場等を集約した新キャンパス設立への着手および一部インバータ製品の生産開始
- サーボとロボットの一貫生産を行うロボット第5工場(福岡県北九州市)の竣工および生産開始(2026年3月から順次)
- システムエンジニアリング事業の強化に向けた南行橋事業所(福岡県行橋市)の竣工

※ その年に開発または実用化した新製品の中から、モノづくりの発展や日本の国際競争力強化に役立つ製品を選定し表彰



梱包作業を実現する
双腕型のAIロボット(MOTOMAN NEXT)



MOTOMAN NEXT-NHC12



新設された南行橋事業所

2025年度における取組み②

販売力の強化

- セル構築の効率化やグローバル標準技術への対応を実現した製品 (『YRM1030』『iC9200』)の発売による、i³-Mechatronicsを実現するコントローラソリューション「iCube Control」のラインアップ強化
- JA全農と協業開発した「きゅうり収穫作業ロボット」の実導入完了
- 南米(コロンビア)における販売拡大およびブランド力向上を目的とした Variadores S.A.S. ^{※1}株式の100%取得



YRMコントローラ
「YRM1030」



マシンコントローラ
iC9226M-EC

メカトロニクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

- 再生医療等製品の製造プラットフォームの開発・提供を行うセラファ・バイオサイエンス(株)のアステラス製薬(株)との設立 (2025年9月29日)
- 「まほろ」によるロボット式細胞培養自動化システムのFDA(米国食品医薬品局)先進製造技術指定取得 (日本企業初)
- Oishii社 ^{※2}日本拠点において、FAMS ^{※3}のいちご播種・育苗用のアグリネ ^{※4}二次試作機の導入完了



きゅうり収穫ロボット

※1 コロンビア メデジン市に本社を置く産業用オートメーション機器の販売・製造会社

※2 米国ニュージャージー州を拠点にいちごを製造・販売するベンチャー企業。2023年5月より当社と資本業務提携を開始

※3 新潟に拠点を置く当社の子会社で主に農業・食品向けの製品・ソリューションを開発・販売

※4 完全人工光型植物工場システム

AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

- ・ 安川電機が定義するAIロボティクスとは『**モーションとAIの融合**』
 - ・ ロボット自身が「見て」「触って」「判断し」それに基づいた「動作」につなげる
- AIによる認識・判断を自律的な動きに変え、ロボットが対応できる作業領域を拡張

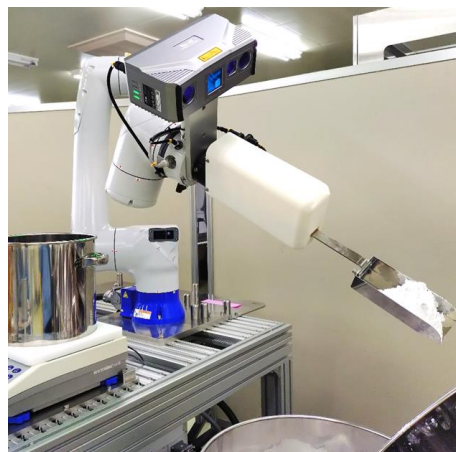
実際の導入事例

医療器材仕分けの自動化



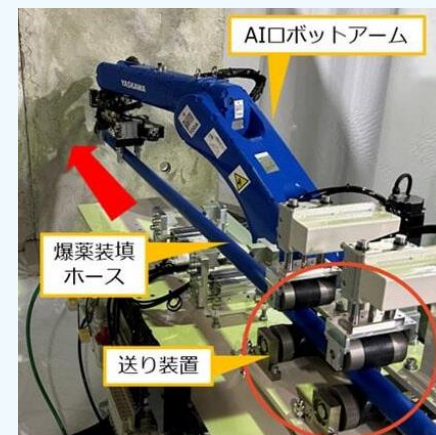
使用済み医療器材をAIで認識しロボットで仕分け。形状・状態が異なる器材を正確に判別し、**感染症リスクゼロの作業環境**を実現。

粉体計量・投入工程の自動化



AI解析により粉体形状を認識し、最適なすくい取りと微量調整を自律実行。**人手依存工程の安定化と高精度秤量**を実現。

発破工程の遠隔・無人化



AI画像解析で装薬孔を高精度に検出。ロボットによる爆薬装填を遠隔化し、**危険作業の無人化と安全性向上**に貢献。

2. 2026年度 通期 連結業績見通し

2026年度 通期 見通し

- AI・半導体関連分野を中心とした旺盛な需要を背景に、足元において受注が好調に推移していることなどを踏まえ、2026年度は増収増益を計画

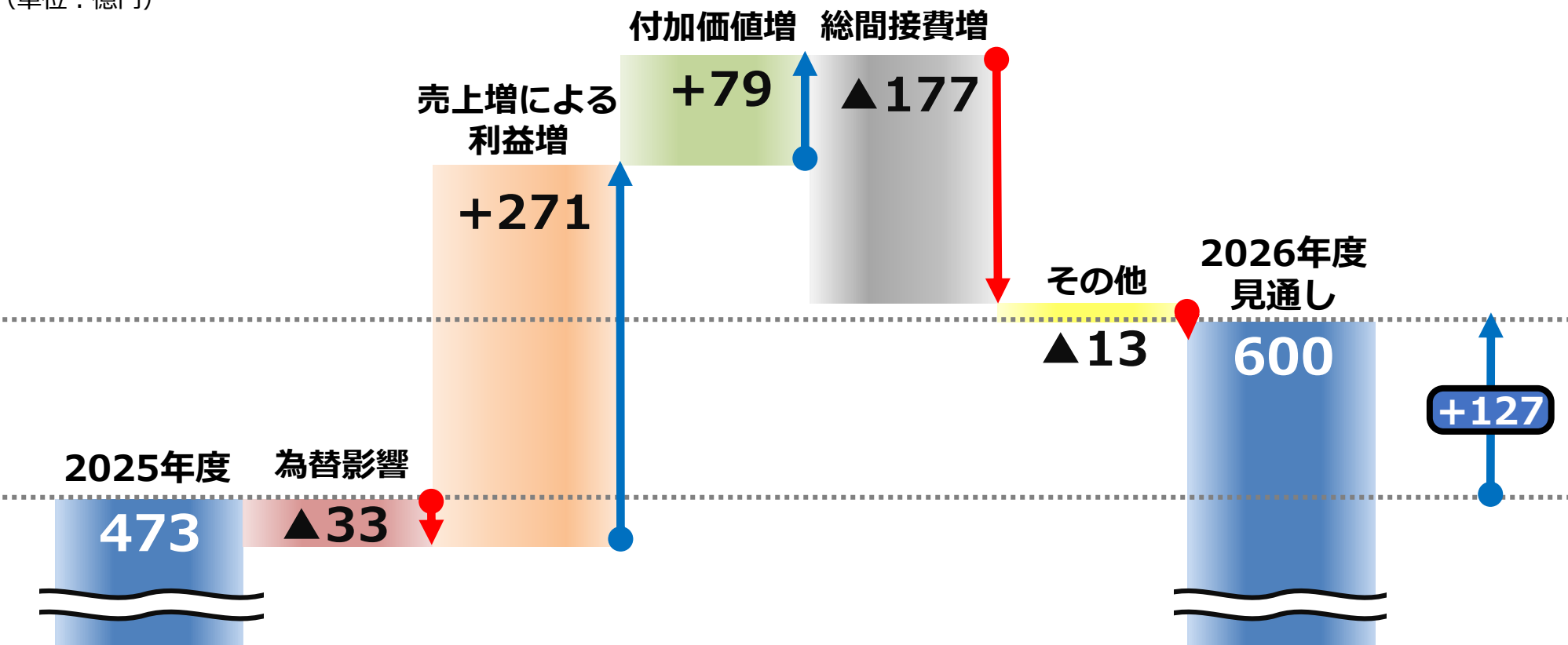
	2026年度	2025年度	前年同期比	
	見通し	実績	増減額	増減率
売上収益	5,800億円	5,421億円	+379億円	+7.0%
営業利益	600億円	473億円	+127億円	+26.8%
税引前利益	650億円	496億円	+154億円	+31.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	470億円	352億円	+118億円	+33.4%

2026年度 通期 見通し (セグメント別)

	2026年度		2025年度		前年同期比	
	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	5,800		5,421		+379	+7.0%
モーションコントロール	2,800		2,361		+439	+18.6%
ロボット	2,400		2,470		▲70	▲2.8%
システムエンジニアリング	400		387		+13	+3.3%
その他	200		203		▲3	▲1.5%
営業利益	600	10.3%	473	8.7%	+127	+26.8%
モーションコントロール	420	15.0%	244	10.3%	+176	+72.2%
ロボット	210	8.8%	204	8.3%	+6	+2.8%
システムエンジニアリング	32	8.0%	50	12.9%	▲18	▲35.8%
その他	13	6.5%	20	9.8%	▲7	▲34.9%
消去または全社	▲75	-	▲45	-	▲30	-

営業利益増減要因分析（2025年度 → 2026年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	▲ 20	+ 275	+ 14	▲ 97	+ 4
ロボット	▲ 13	▲ 12	+ 67	▲ 27	▲ 10
システムエンジニアリング	▲ 0	+ 8	▲ 3	▲ 22	▲ 1
その他	▲ 0	▲ 0	+ 1	▲ 32	▲ 6

2026年度における取り組み

“i³-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

開発力の強化

- アクチュエータの技術開発・実証を通じたヒューマノイドロボット領域の深耕
- 半導体市場の新技术 (3D パッケージ等) へ対応した最適製品・技術の開発

生産力の強化

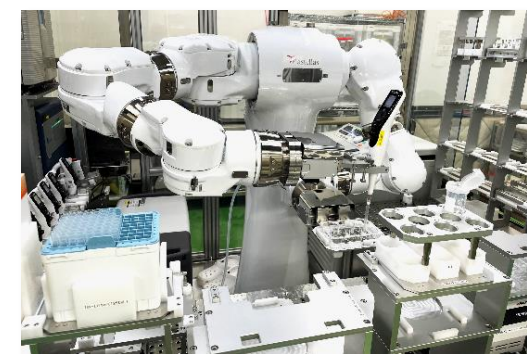
- ロボット第5工場(福岡県北九州市)の安定稼働による変種変量・止まらない生産の実現
- 南行橋事業所(システムエンジニアリング工場・福岡県行橋市)の本格稼働開始

販売力の強化

- MOTOMAN NEXT拡販に向けた即時導入可能なパッケージ商品の開発とSier・装置メーカーとの協業による販売活動の推進
- マトリクスコンバータU1000を軸としたデータセンタ市場における建屋空調および機器冷却設備向け販売の拡大



ロボット第5工場の外観



細胞製造プラットフォームで稼働する汎用ヒト型ロボットLabDroid「まほろ」

メカトロニクス応用領域の事業拡大による

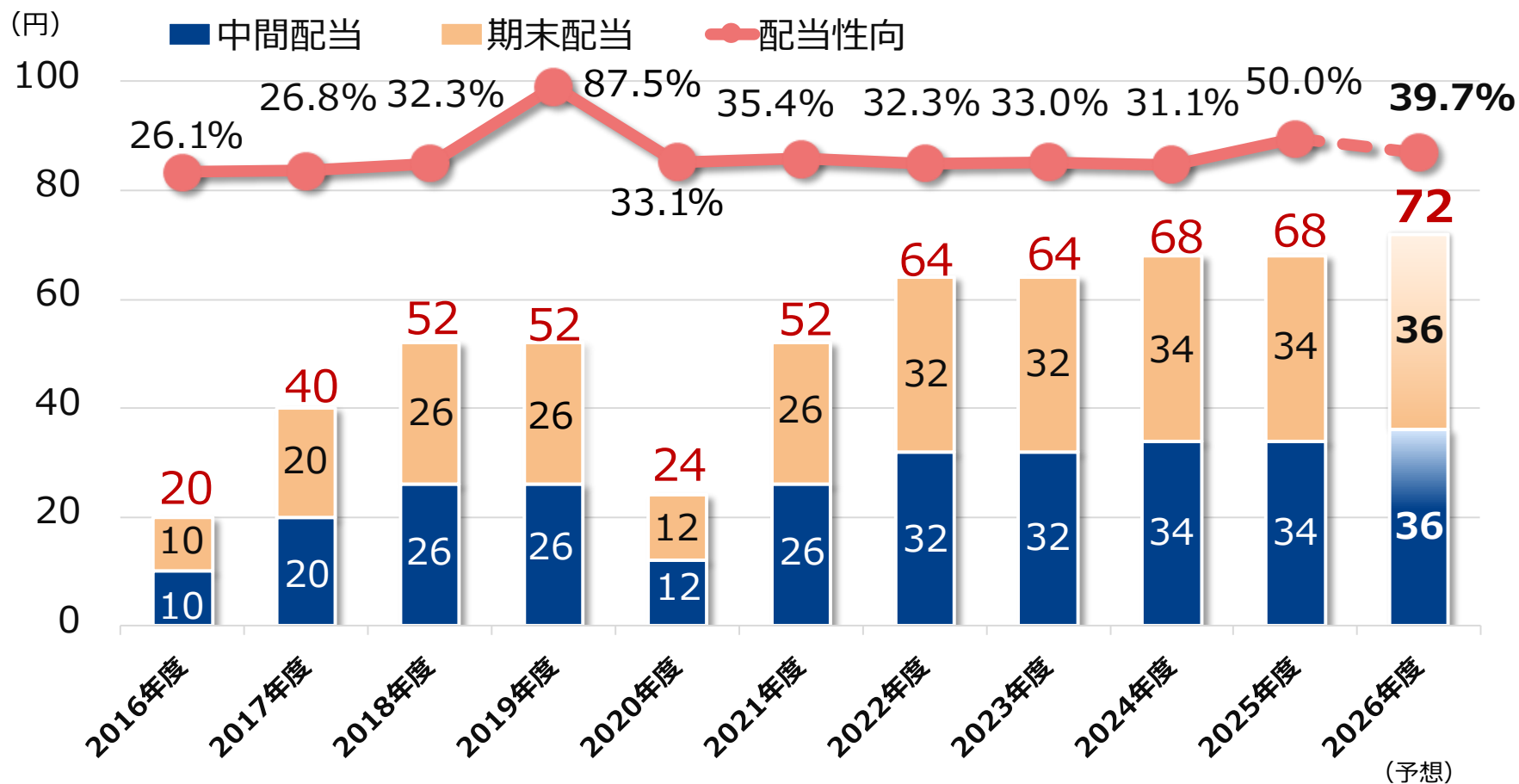
サステナブルな社会実現への貢献

- JA全農などの農業現場における野菜や果物の収穫・選果ソリューションの展開加速
- 人の判断のデジタル化とAI活用を通じた医療現場における「まほろ」導入範囲の拡大

株主還元（配当金推移）

- 2025年度は一株当たり年間68円の配当を実施（配当性向 50.0%）
- 2026年度は一株当たり年間72円の配当を予想（配当性向 39.7%）

配当金推移



3. 参考資料

設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2024年度 (実績)	2025年度 (実績)	2026年度 (計画)
設備投資額	406.7	570.4	580.0
減価償却費	208.0	210.8	260.0
研究開発投資	237.7	240.1	240.0

為替レート

(単位: 円)

	2024年度 (実績)			2025年度 (実績)			2026年度 (想定)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
対 米ドル	153.7	151.6	152.7	146.2	153.7	149.9	145.0
対 ユーロ	166.6	161.3	164.0	166.0	179.8	172.8	170.0
対 元	21.23	21.01	21.12	20.26	21.80	21.01	20.50
対 ウォン	0.113	0.108	0.111	0.104	0.107	0.105	0.105

為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額目安 (2025年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.4	3.1
ユーロ	6.8	0.9
元	11.6	3.1
ウォン	4.6	1.6

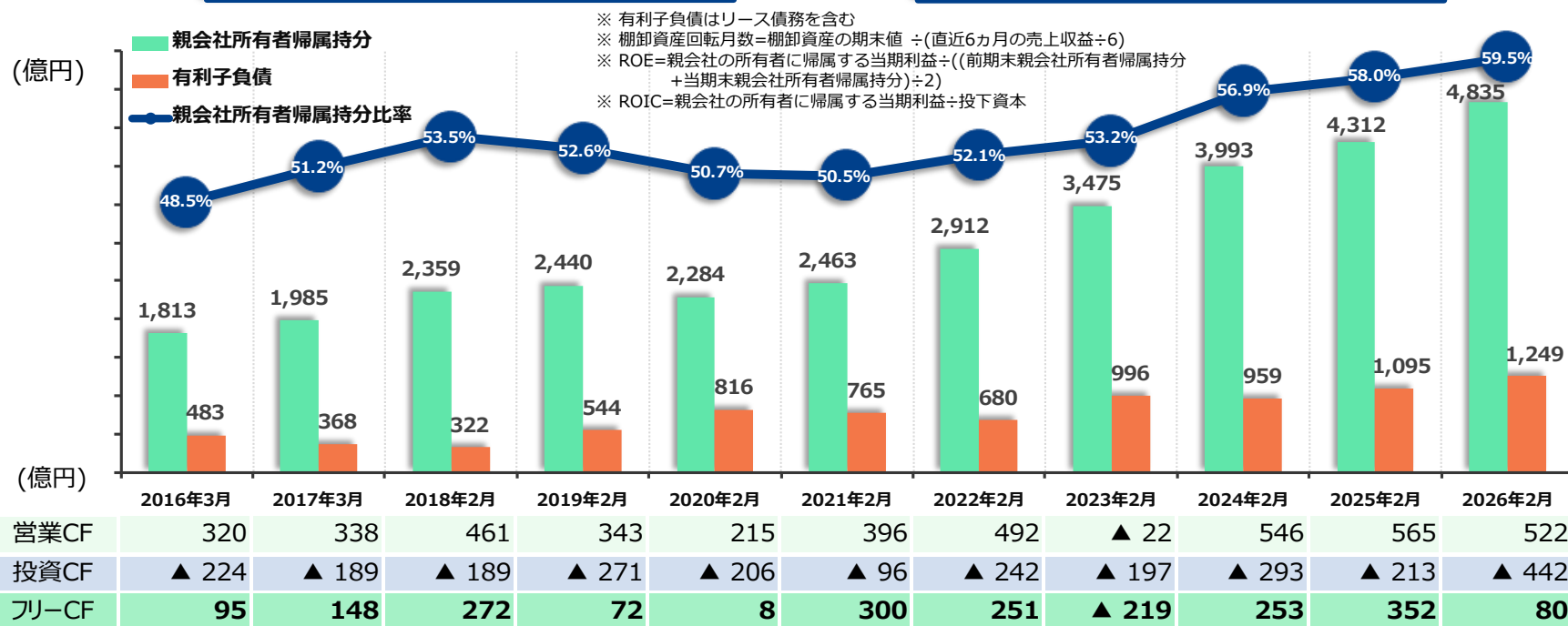
B/S構造の推移

2025年2月28日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 58.0%
- ▶ 親会社所有者帰属持分 4,312億円
- ▶ 有利子負債 1,095億円
(現金及び現金同等物) 590億円
- ▶ D/Eレシオ 0.25
(ネットD/Eレシオ) 0.12
- ▶ 棚卸資産 2,063億円
(回転月数) (4.5ヶ月)
- ▶ ROE 13.7%
- ▶ ROIC 12.2%

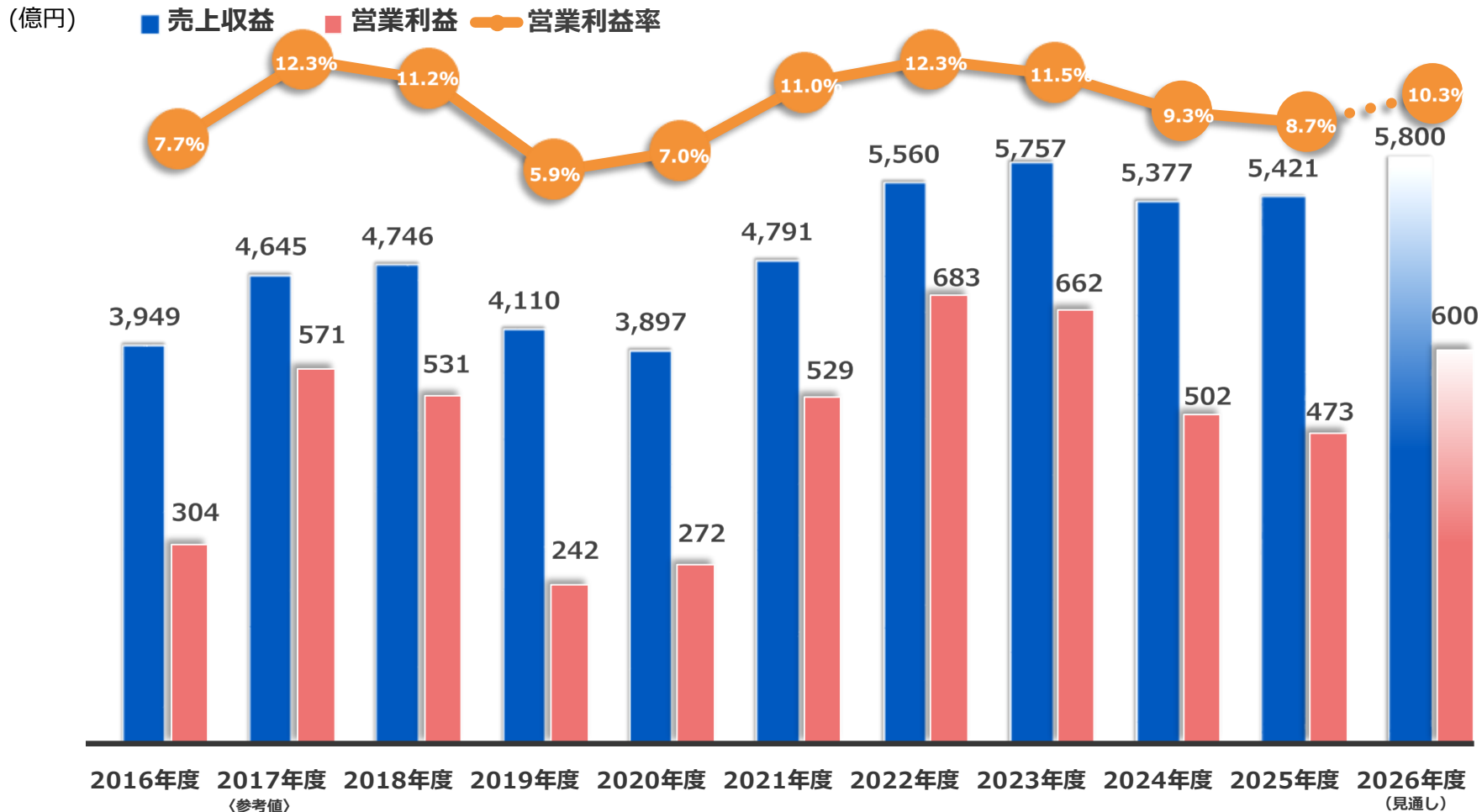
2026年2月28日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 59.5%
- ▶ 親会社所有者帰属持分 4,835億円
- ▶ 有利子負債 1,249億円
(現金及び現金同等物) 612億円
- ▶ D/Eレシオ 0.26
(ネットD/Eレシオ) 0.13
- ▶ 棚卸資産 2,108億円
(回転月数) (4.5ヶ月)
- ▶ ROE 7.7%
- ▶ ROIC 6.9%



[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

売上収益・営業利益推移（2016年度～2026年度見通し）



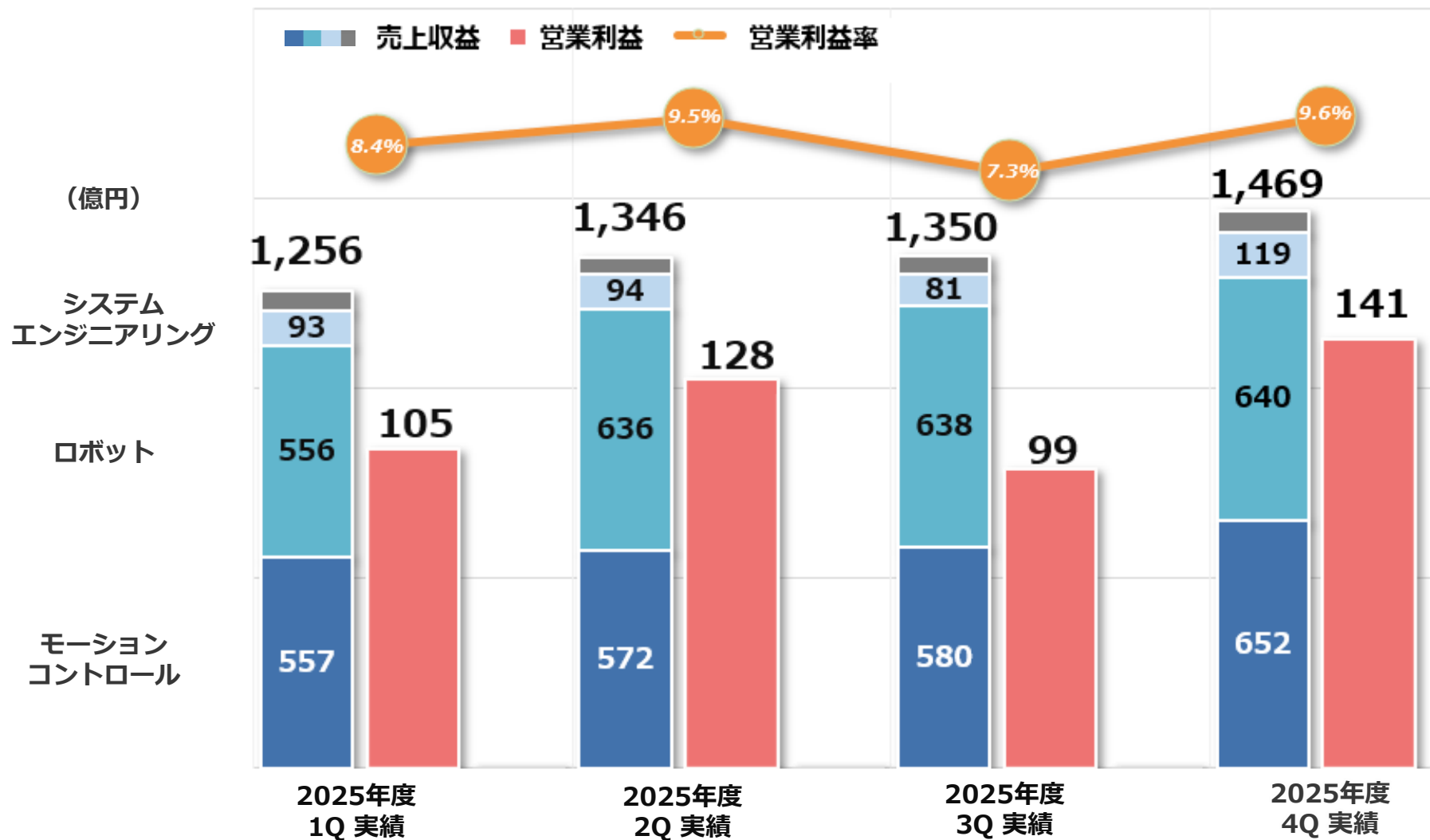
Dash 25
Challenge 25 Plus
Realize 25
Dash 35

中期経営計画

[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

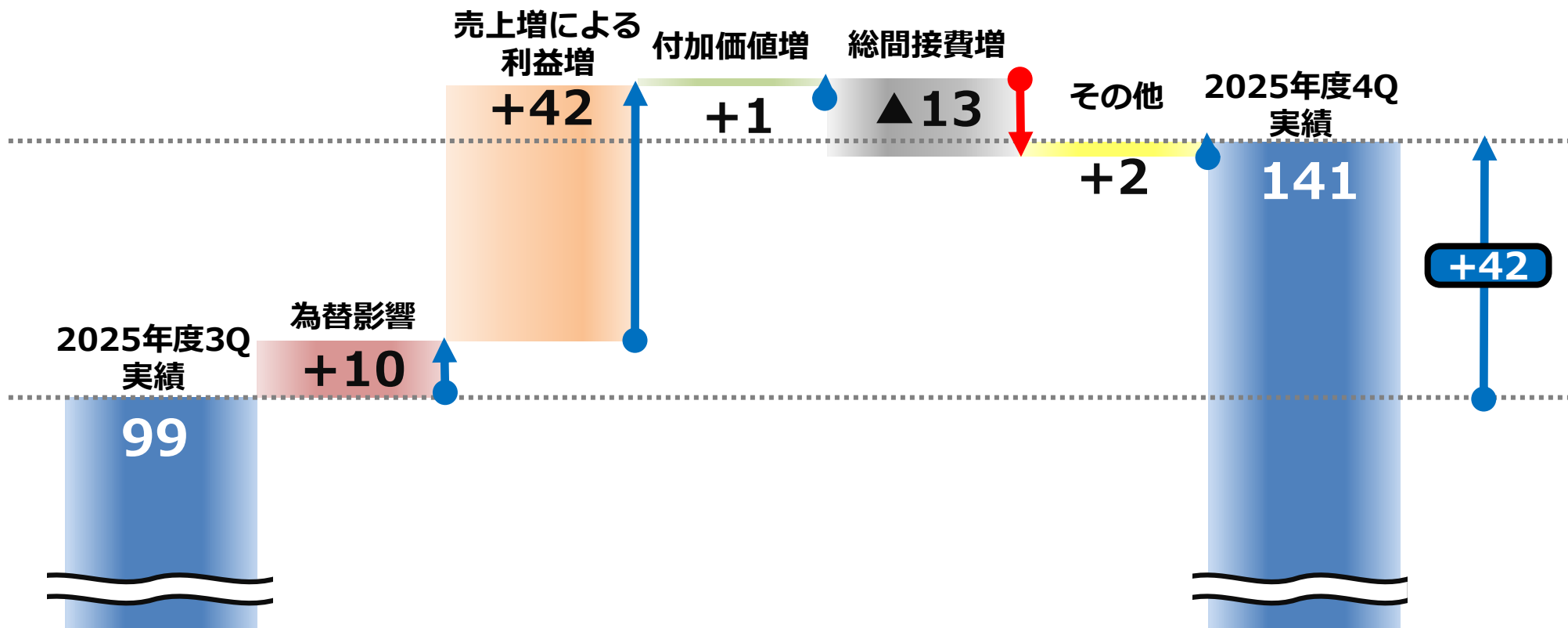
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

売上収益・営業利益 四半期推移



直近四半期営業利益増減要因分析（2025年度 3Q → 2025年度 4Q）

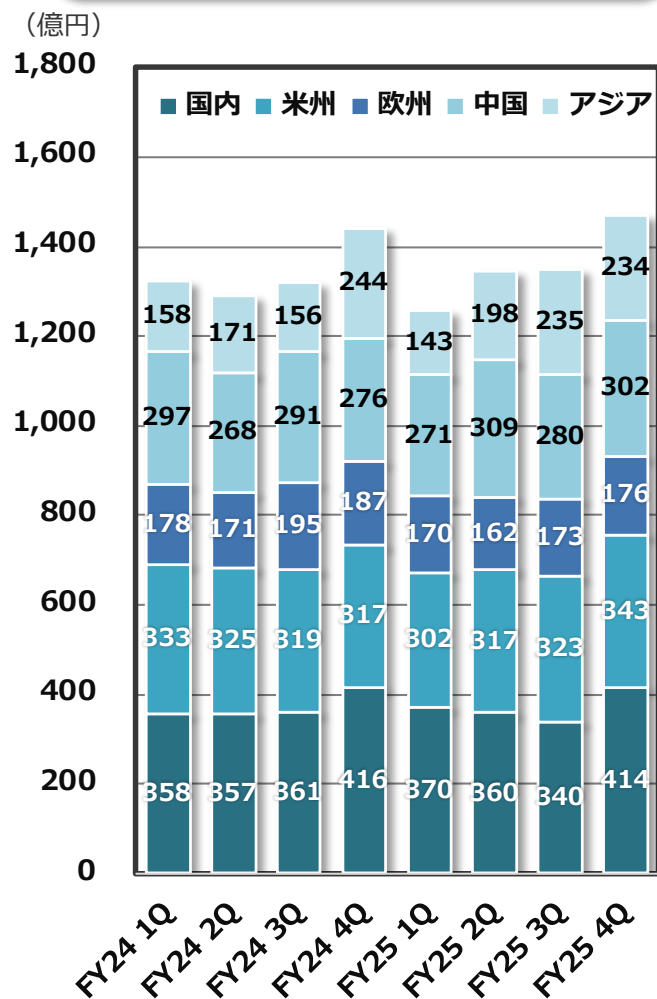
（単位：億円）



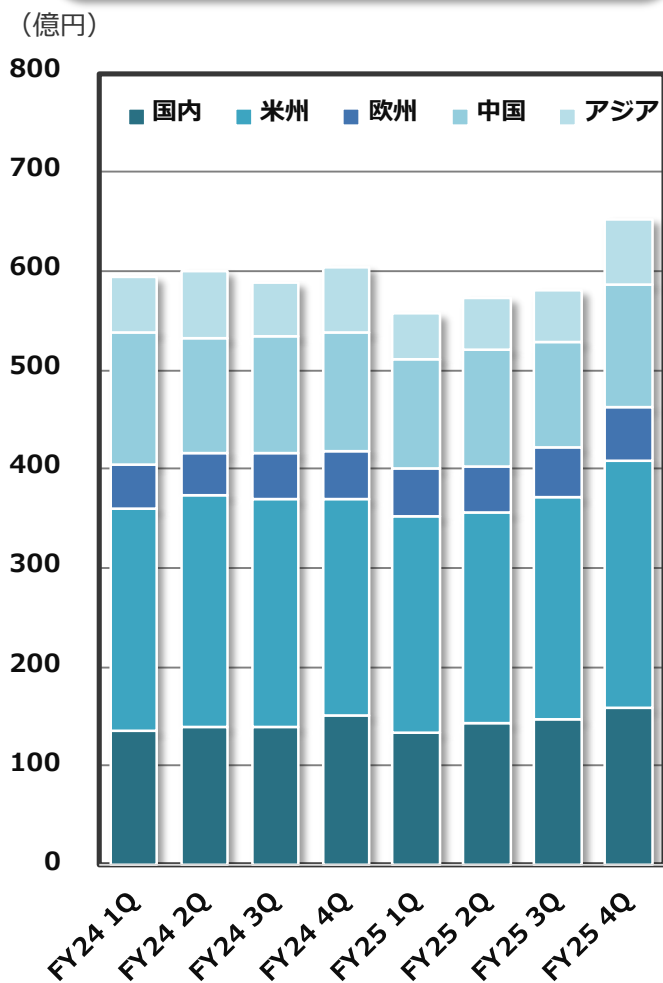
内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 5	+ 29	+ 8	▲ 8	+ 2
ロボット	+ 4	▲ 7	▲ 6	+ 8	+ 1
システムエンジニアリング	+ 0	+ 19	▲ 1	▲ 3	▲ 0
その他	+ 0	+ 1	+ 0	▲ 9	▲ 0

売上収益 四半期推移

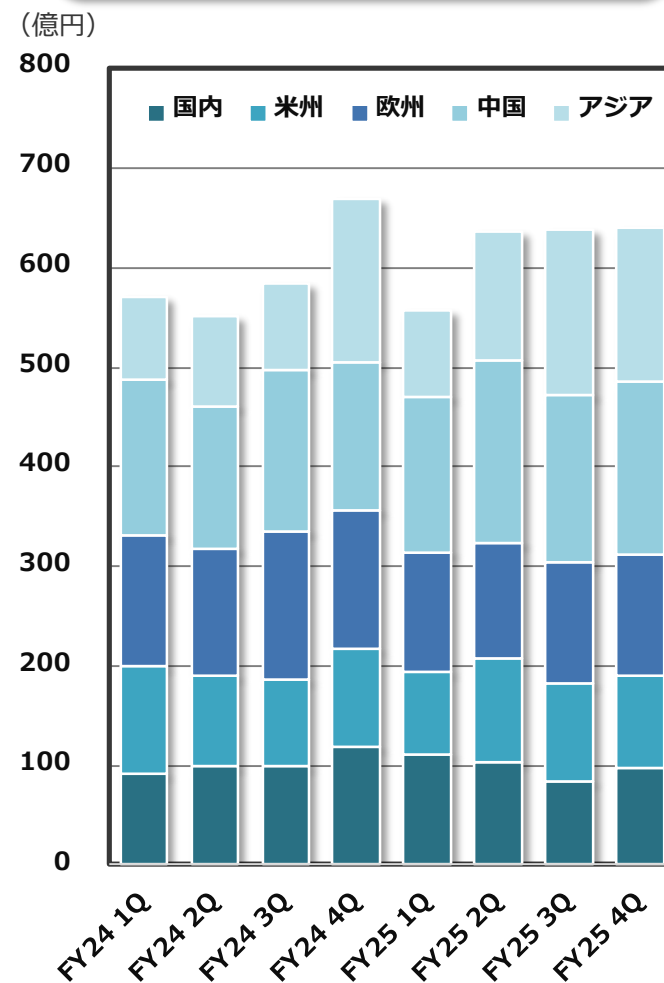
全社



モーションコントロール



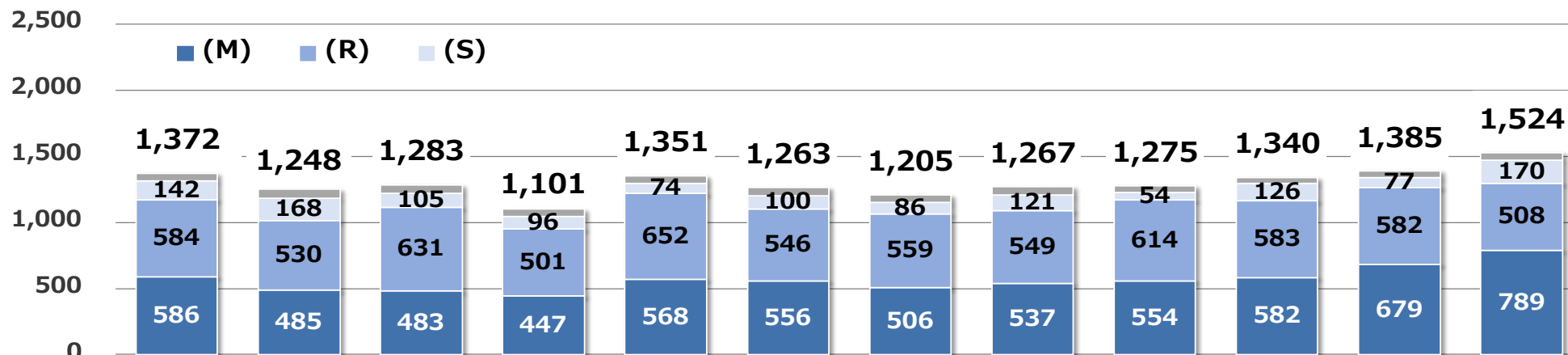
ロボット



四半期受注推移 (セグメント別)

※為替は期中平均レートを使用

(億円)



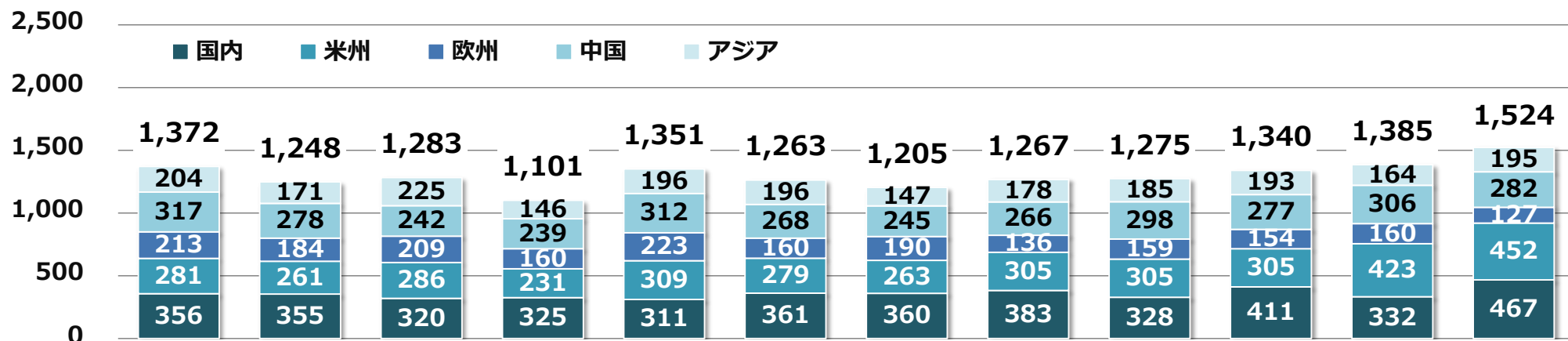
		FY2023				FY2024				FY2025			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
全社	YoY	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%	+6%	+15%	+20%
	QoQ	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%	+5%	+3%	+10%
YoY	(M)	▲27%	▲38%	▲19%	▲16%	▲3%	+15%	+5%	+20%	▲2%	+5%	+34%	+47%
	(R)	▲10%	▲15%	▲6%	▲8%	+12%	+3%	▲11%	+10%	▲6%	+7%	+4%	▲7%
	(S)	▲11%	▲1%	▲48%	▲27%	▲48%	▲40%	▲18%	+26%	▲27%	+25%	▲11%	+40%
QoQ	(M)	+9%	▲17%	▲0%	▲7%	+27%	▲2%	▲9%	+6%	+3%	+5%	+17%	+16%
	(R)	+7%	▲9%	+19%	▲21%	+30%	▲16%	+2%	▲2%	+12%	▲5%	▲0%	▲13%
	(S)	+8%	+19%	▲37%	▲9%	▲23%	+36%	▲14%	+41%	▲55%	+132%	▲39%	+122%
為替 レート	円/ドル	134.9	142.5	149.1	146.7	153.2	154.1	149.1	154.1	146.2	146.3	151.4	156.0
	円/ユーロ	146.1	155.7	159.3	159.4	165.5	167.6	162.1	160.6	162.0	169.9	176.3	183.3

[注] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期受注推移 (所在地別)

※為替は期中平均レートを使用

(億円)



		FY2023				FY2024				FY2025			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
Total	YoY	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%	+6%	+15%	+20%
	QoQ	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%	+5%	+3%	+10%
YoY	国内	▲23%	▲31%	▲26%	▲11%	▲13%	+2%	+13%	+18%	+6%	+14%	▲8%	+22%
	米州	▲19%	▲30%	▲12%	▲23%	+10%	+7%	▲8%	+32%	▲1%	+9%	+61%	+48%
	欧州	▲13%	▲2%	▲21%	▲28%	+5%	▲13%	▲9%	▲15%	▲29%	▲4%	▲16%	▲7%
	中国	▲27%	▲26%	▲41%	+3%	▲1%	▲3%	+1%	+11%	▲5%	+3%	+25%	+6%
	アジア	+10%	▲20%	+72%	▲2%	▲4%	+14%	▲34%	+22%	▲6%	▲1%	+11%	+10%
QoQ	国内	▲3%	▲0%	▲10%	+2%	▲5%	+16%	▲0%	+6%	▲14%	+25%	▲19%	+41%
	米州	▲6%	▲7%	+10%	▲19%	+34%	▲10%	▲6%	+16%	+0%	▲0%	+39%	+7%
	欧州	▲4%	▲13%	+14%	▲24%	+40%	▲28%	+19%	▲28%	+17%	▲3%	+4%	▲21%
	中国	+37%	▲12%	▲13%	▲1%	+30%	▲14%	▲9%	+9%	+12%	▲7%	+10%	▲8%
	アジア	+37%	▲16%	+31%	▲35%	+34%	▲0%	▲25%	+21%	+4%	+5%	▲15%	+19%

参考定量情報 (為替影響・受注・売上収益比率)

売上収益における為替影響

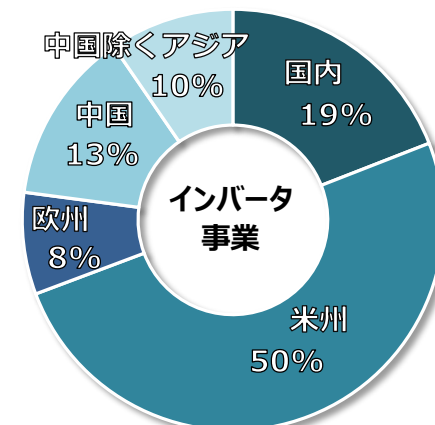
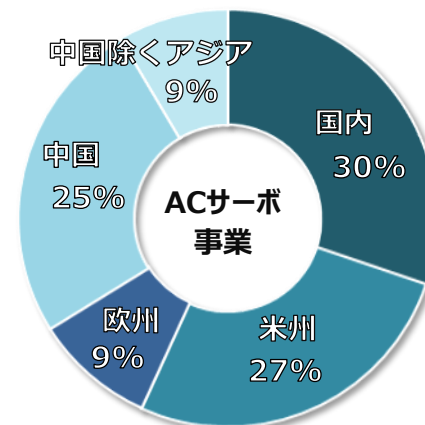
	前年同期比	
	2025年度 通期 (単位：億円)	2026年度 見通し
全社	▲24	▲112
モーションコントロール	▲15	▲63
ロボット	▲8	▲45
システムエンジニアリング	▲1	▲3
その他	▲0	▲1

連結受注 事業別・所在地別増減率

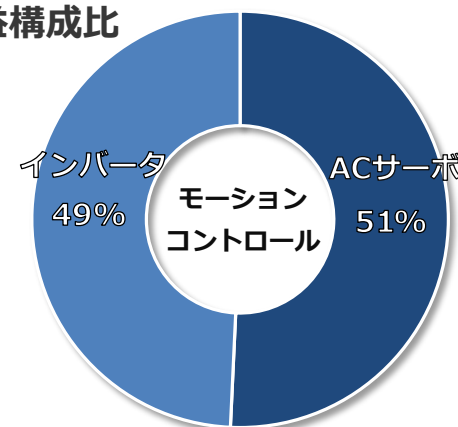
FY2025 4Q 受注	モーションコントロール		ロボット	
	ACサーボ	インバータ		
全社	YoY	+44%	+50%	▲7%
	QoQ	+38%	▲1%	▲13%
YoY	国内	+31%	+19%	▲9%
	米州	+81%	+67%	+3%
	欧州	+32%	+40%	▲23%
	中国	+9%	+55%	▲5%
	アジア	+102%	+24%	▲6%
QoQ	国内	+33%	+17%	+7%
	米州	+60%	▲17%	+23%
	欧州	+15%	▲9%	▲32%
	中国	+10%	+26%	▲23%
	アジア	+85%	+149%	▲18%

モーションコントロールセグメント 2025年度 売上収益構成比

所在地別売上収益構成比



事業別売上収益構成比



YASKAWA